

道路技術者志望の
学生向けに見学会

NIPPO、室蘭市
白鳥大橋補修現場で

NIPPOは北海道室蘭市で施工する「一般国道37号室蘭市白鳥大橋舗装補修工事」現場で12日、道路建設会社社への就職を目指す北海道科学大学の学生を対象に見学会を開いた。写真。道路技術者を志す学生に鋼床版の橋面舗装技術を紹介するとともに、東日本最大の長大つり橋である白鳥大橋のスケールも体感しても

らった。学生たちはグーアスファルトフィニッシャーなどの建設機械や施工について職員から説明を受けた。

見学会には同大の4年生



8人が参加した。白鳥大橋は1998年に開通。開通から20年以上が経過し、老朽化対策が課題となっている。

志望学生が現場体験

NIPPO

NIPPOは12日、北海道室蘭市の「一般国道37号室蘭市白鳥大橋舗装補修工事」の現場で、北海道科学大学（札幌市）の4年生を対象とした見学会を開いた。写真。道路技術者を志す学生に鋼床版の橋面舗装の技術を学んでもらうとともに、橋長1380メートルと東日本最大の長大吊り橋で

ある白鳥大橋で現場を経験してもらったことを目的としており、8人の学生が参加した。

白鳥大橋は1998年の開通から21年が経過しており、5年計画で橋梁の老朽化対策を実施している。

見学会では、学生たちへグー・ス・ア・ス・ファ・ルト・フ・イ・ニ・ッ・シ・ヤーなどの建設機械や施工について説明した。参加学生からは「現場に出て実際の舗装工事を目の当たりにし、施工方法など大変勉強になった」といった感想が寄せられ、将来の舗装技術者を目指す貴重な一歩となった。



室蘭市白鳥大橋で見学会

道路技術者志す学生対象に

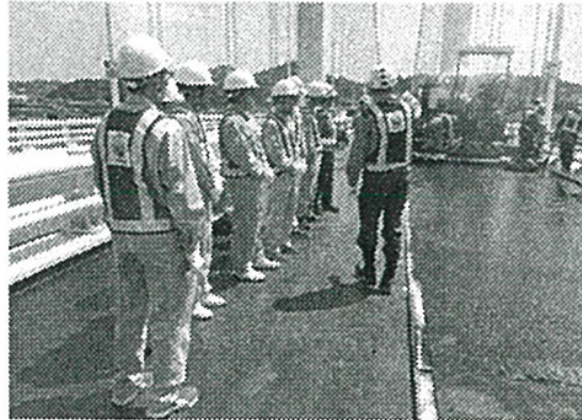
NIPPO

NIPPOは12日、道路会社の就職を目指す北海道科学大学（札幌市）4年生向けに、「一般国道37号室蘭市白鳥大橋舗装補修工事」の見学会を開催した。写真。

見学会は、道路技術者を志す学生に、鋼床版の橋面舗装の技術を学び東

日本最大の長大吊り橋である白鳥大橋での現場を経験してもらうことを目的としている。

1998年に開通し、21年経過した白鳥大橋は5年計画で橋梁の老朽化対策を行っている。学生たちは、グリーススファルトフィニッシャーなど



建設機械や施工について説明を受け、将来の舗装技術者として貴重な一歩を踏み出した。